

東京都地方独立行政法人評価委員会

令和4年度第2回都立病院分科会

令和5年1月19日（木）

東京都福祉保健局都立病院支援部法人調整課

(午後 4時56分 開会)

○萩谷連絡調整担当課長 定刻より少し早いですが、皆様おそろいでございますので、ただいまより東京都地方独立行政法人評価委員会令和4年度第2回都立病院分科会を始めさせていただきます。

本日はお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私、事務局を担当しております福祉保健局都立病院支援部連絡調整担当課長の萩谷と申します。よろしくお願いいたします。議事に入るまでの間、進行を務めさせていただきます。

初めに、独法化に伴う組織改編がございましたので、事務局の福祉保健局幹部職員を紹介させていただきます。

福祉保健局理事の谷田でございます。

○谷田理事 よろしく願いいたします。

○萩谷連絡調整担当課長 都立病院支援部長の齋藤でございます。

○齋藤都立病院支援部長 齋藤でございます。よろしくお願いいたします。

○萩谷連絡調整担当課長 それでは、谷田より一言ご挨拶を申し上げます。

○谷田理事 委員の皆様におかれましては、本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。福祉保健局医療政策担当理事の谷田と申します。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、ご案内のとおり、令和4年7月に東京都立病院機構が設立されましたけれども、委員の皆様方におかれましては、この第1期中期目標、あるいは中期計画の策定に向けてご審議をいただくなど、多大なるご協力を賜りました。この場をお借りしまして、改めて感謝申し上げたいと思っております。

この独法化後の新たな都立病院では、機動的な人材確保などの地方独立行政法人制度のメリットや、14病院1センターの一体的な運営によるメリットなどを最大限に生かしながら、中期目標、中期計画で掲げる行政的医療の安定的かつ継続的な提供をはじめとしまして、高度・専門的医療の提供、地域医療の充実への貢献に向けた取組などを推進しております。特に新型コロナウイルス感染症につきましては、都立病院は長期間にわたり、その時々の感染状況に応じて、各病院が他の医療機関や、あるいは関係機関と連携しながら、患者の受入れなどに全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

東京都といたしましては、こうしたコロナ対応も含め、機構が都の医療政策と連携をしながら、都民の生命と健康を守るという使命を確実に果たせるよう支援を行ってまいります。また、設立団体としまして、中期目標期間中の業務実績の評価や次期中期目標の策定などを通じて、PDCAサイクルを十分に機能させることで、機構に対して業務の質の向上と業務運営の効率化を促して、都民サービスの向上、患者サービスの向上につなげてまいります。

本日の議題でございますけれども、都立病院機構の評価基準等についてとさせていただきます。地方独立行政法人法等に基づきまして、今年の夏頃に初めての業務実績評価として、令和4年度の業務実績評価を行うこととなっております。この業務実績評価の実施に先立ちまして、都立病院機構の評価に関する基準や評価を行う際の評価項目などについて、委員の皆様方の忌憚のないご意見をいただければと思っております。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

○萩谷連絡調整担当課長 続きまして、定足数を確認させていただきます。

東京都地方独立行政法人評価委員会条例の規定によりまして、本分科会の開催に当たり、委員の過半数の出席が必要となっております。本日は、オンラインにてご参加の本田委員を含めまして、5名中4名の委員の方にご参加いただいているため、定足数を満たしております。なお、井伊委員につきましては、ご都合により本日はご欠席のご連絡をいただいております。

次に、会議の公開に関して、本委員会は東京都地方独立行政法人評価委員会運営要綱第2条の規定により公開となっております。議事録及び会議資料につきましても、同要綱第4条の規定により、後日、福祉保健局のホームページに掲載いたしますので、ご承知おきください。

次に、資料の確認をさせていただきます。

まず、1枚目が次第でございます。

次に、資料1、東京都地方独立行政法人評価委員会都立病院分科会委員の皆様の名簿でございます。

資料2、地方独立行政法人東京都立病院機構の業務実績評価についてでございます。

資料3、地方独立行政法人東京都立病院機構の評価に関する基準（案）でございます。

資料4、地方独立行政法人東京都立病院機構の業務実績評価における評価項目（案）についてでございます。

資料5、地方独立行政法人東京都立病院機構中期計画・年度計画比較表でございます。

資料6、地方独立行政法人東京都立病院機構業務実績等報告書の様式案でございます。

資料7、地方独立行政法人東京都立病院機構業務実績評価書の様式案でございます。

最後に、資料8、今後の都立病院分科会開催スケジュールでございます。

また、参考資料は別冊にてお配りしておりますので、必要に応じてご確認ください。

資料につきましては以上でございます。資料の不足等がございましたら、係員が参りますので、挙手にてお知らせください。よろしいでしょうか。オンラインにてご参加の本田委員におかれましては、事前にメールで資料を送付しておりますので、そちらをご確認いただければと存じます。不明点がございましたら、挙手またはメッセージでお知らせください。

次に、ご発言の際の方法についてご説明させていただきます。会議中、ご発言される際

には挙手をしていただきまして、福井分科会長の指名後、机上に設置しておりますマイクをオンにさせていただいた後でご発言いただき、ご発言後はマイクをオフにさせていただきますようお願いいたします。また、オンラインにてご参加の本田委員におかれましては、カメラを常にオンにいただき、マイクは発言時のみオンとしていただきますようお願いいたします。ご発言の際は画面上で挙手をしていただき、福井分科会長の指名後、お手数ではございますが、ミュートを解除の上ご発言ください。

その他、ご不明な点はございますでしょうか。

それでは、以降の議事進行につきまして、福井分科会長、どうぞよろしくをお願いいたします。

○福井分科会長 委員の皆様にはご多忙のところ、本日もご出席いただき、ありがとうございます。

本日は、地方独立行政法人東京都立病院機構の評価基準等についてという議題が一つのみでございます。よろしくお願いいたします。

それでは事務局より、まず説明をお願いいたします。

○萩谷連絡調整担当課長 ご説明させていただきます。

独法化後、初めての業務実績評価となる令和4年度業務実績評価を年度終了後に実施するのに先立ちまして、あらかじめ評価の基準等を定める必要があり、今回、委員の皆様のご意見を頂戴できればと考えております。

お手元に資料2、地方独立行政法人東京都立病院機構の業務実績評価についてをご用意ください。

1ページ目、評価に関する基準の位置づけでございます。地方独立行政法人法と評価委員会条例によりまして、知事が業務実績評価を行うときは評価委員会の意見をお伺いすることとなっております。また、資料の中ほどにございますとおり、東京都では、都における地方独立行政法人の業務実績評価方法に関する統一的なガイドラインといたしまして、業務実績評価に関する指針を策定しております。この指針に基づき、東京都が設立する各地方独立行政法人の評価基準を作成することとしておりまして、今回、東京都立病院機構の評価に関する基準を策定したいと考えております。

ここで、お手数ですが資料3をご覧ください。

こちらが評価基準の案となっております。内容といたしましては、都の評価指針を基に作成しております。こちらの概要について、またお手数ですが資料2に戻っていただきまして、2ページ目の評価に関する基準の概要についてをお開きいただければと思います。ただいまご確認いただきました評価に関する基準について、こちらに概要をまとめております。

まず、基本的な考え方でございます。評価を行うことで知事による目標策定と評価に基づくPDCAサイクルを十分に機能させ、住民サービス等の質の向上を図ること。中期

目標を定めた項目を評価項目として評価する項目別評価と、それを基礎とした法人全体を評価する全体評価を行うこと。評価結果を公表することで透明性の確保及び都民への説明責任の徹底を図ることなどがございます。

次に、下にごございます評価体制でございます。評価は知事が行いまして、評価に当たっては評価委員会からの意見聴取により、専門的知見を活用することで評価の実効性、客観性を確保いたします。

3ページ目をご覧ください。

各評価の目的等でございます。評価には各事業年度の業務実績を基に行う年度評価と、次期中期目標の策定等に資するため、中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績を基に行う見込評価、中期目標期間の終了時の業務実績を基に行う期間実績評価の3種類がございます。

下の表、第1期中期目標期間の業務実績評価スケジュールをご覧ください。年度評価、見込評価、期間実績評価の各評価スケジュールを示しておりまして、来年度は令和4年度の実績について年度評価を実施いたします。

4ページ目、評価の方法等でございます。

まず、項目別評価でございますが、原則としてSからDの5段階で評価いたします。評語については右の表をご覧ください。こちらは年度評価の例となっておりますが、計画をおおむね順調に実施している場合にはB、計画を上回っていればSやA、十分に実施できていない場合はCやDとなります。ただし、実績・成果の水準のみではなく、計画の難易度、外的要因、取組の経過・過程等を総合的に勘案して評価いたします。

次に全体評価でございますが、項目別評価を基礎として、記述による総合評価を行います。評語については、右の表をご覧ください。こちらも年度評価の例となっておりますが、計画の進捗状況について記述いたします。評価に当たりましては、政策上の要請等、法人全体の評価に影響を与える事象等を加味して行います。

最後に5ページ目でございます。評価のスケジュールでございますが、法人から提出を受けた業務実績等報告書を基に評価案を作成後、6月から7月にかけて、評価委員の皆様にご意見を聴取をさせていただき評価を決定いたします。評価結果は法人へ通知・公表するとともに、毎年、東京都議会第3回定例会に報告いたします。

評価基準についての説明は以上でございます。

○福井分科会長 ありがとうございます。

ただいま主として資料2について、資料3に関わることですけれども、説明をしていただきました。ここままで委員の皆様から、何かご意見がございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

比較的、オーソドックスなやり方のように思います。たまたま私は、ほかの公的な病院団体の外部評価委員会の委員長もしていますが、ほぼこのような形でやっているものと

思います。

ここまでよろしいでしょうか。もし1年目はこれを使ってやってみて、変更が必要ではないかという意見が出た場合には、可能なわけですね。

○萩谷連絡調整担当課長 はい。評価の信頼性であるとか、一定の継続性といったものを担保するというのが前提にはなろうかと思いますが、修正は可能であると思っております。委員の皆様方からご意見を頂戴いたしまして、改善を図っていきたいと思っております。

○福井分科会長 よろしいでしょうか。

それでは、ご欠席されている井伊先生から、あらかじめ何かご意見がありましたでしょうか。

○萩谷連絡調整担当課長 評価基準のほうでは、特段ご意見を頂戴しておりません。

○福井分科会長 ありがとうございます。

それでは、次に進みたいと思います。資料4から7まで、説明をお願いします。

○萩谷連絡調整担当課長 続きまして、評価の際に必要な評価項目についてご説明させていただきます。お手元に資料4、地方独立行政法人東京都立病院機構の業務実績評価における評価項目（案）についてをご用意ください。

1 ページ目、基本的な考え方でございますが、先ほど評価基準の基本的な考え方をご説明した際に申し上げたとおり、中期目標に定める項目を基準として項目別評価を実施いたします。

次に下の表、評価項目（案）をご覧ください。

2 ページ目にかけて記載しておりますが、一番左が中期目標、中央が中期計画、右が年度計画の項目になっております。そして一番右側でございますが、原則として、中期目標を定める項目を評価項目とするため、それぞれ対応する項目に1から21までの数字を付しております。評価項目の設定につきましては、基本的には各医療の提供について、それぞれ細かく設定し、評価を行ってまいります。そのほか、医療を提供するに当たっての運営全体に関する取組等につきましては、ある程度まとめて評価をすることとしたいと考えております。

2 ページ目の右下をご覧ください。

第7、各病院等重点事業でございます。こちらは中期目標に定める項目ではなく、年度計画のみの項目となっているため、独立した評価項目とはしておりません。ただし、各重点事業の業務実績自体につきましては評価が必要であると考えているため、上記1から21までの関連する評価項目の中で評価したいと考えております。

具体的には3 ページ目をご覧ください。「各病院等重点事業」の取扱いについてをご覧ください。

ただいま簡単にご説明いたしました内容をイメージとして掲載しております。例えば、

がん医療に関連する各病院の重点事業であれば、項目1のがん医療において、救急医療に関連する重点事業であれば、項目3の救急医療において実績を記載いたしまして、項目ごとに評価を行うことを考えております。

次に資料5、地方独立行政法人東京都立病院機構中期計画・年度計画比較表でございますが、こちらはそれぞれの計画の内容を比較してご覧いただけるように作成したものでございますので、ご参考にご覧ください。

ここで資料6、地方独立行政法人東京都立病院機構業務実績等報告書（案）をご覧ください。こちらは、法人から提出を受ける業務実績等報告書の様式案でございます。

表紙をおめくりいただきまして、1ページ目をご覧ください。初めに、法人の概要や業務実績の全体的な内容を法人に記載していただきます。

2ページ目をご覧ください。業務実績及び自己評価でございます。例といたしまして、がん医療について記載をしております。

資料右下の「年度計画に係る実績」の欄をご覧ください。先ほどご説明した、各病院等重点事業の取扱いでございますが、がん医療に関する取組があれば、その実績の末尾に「〇〇病院重点」といった形で、どの病院の重点事業なのかが分かるように記載していただきます。

続けて、資料の中ほどの「法人自己評価」の欄をご覧ください。がん医療等の評価項目ごとに業務実績を踏まえた総合的な自己評価と評価の解説を記載していただきます。

5ページ目及び6ページ目をご覧ください。

添付資料といたしまして、各病院等の業務実績について年度計画に定めた各病院等重点事業のほか、個別の病院の取組として病院別にまとめていただきます。こちらの内容は、評価項目1から21に記載した内容の再掲とはなりますが、評価項目ごとではなく、病院ごとの実績を把握するために作成、提出いただきます。

最後に資料7、地方独立行政法人東京都立病院機構業務実績評価書（案）でございますが、こちらは法人からの業務実績報告を受けて都が作成する評価書の様式案でございます。全体評価、項目別評価、参考資料というつくりになっておりまして、全体評価では3ページ目、「1、総評」、4ページ目、「2、都民に提供するサービス及びその他の業務の質の向上に関する事項」、5ページ目、「3、法人の業務運営及び財務状況に関する事項」、6ページ目、「4、その他」として記述いたします。また、項目別評価では評価項目ごとに評定を記載いたします。

評価項目についての説明は、以上でございます。

○福井分科会長 ありがとうございます。

ただいま説明していただきました資料4から7までについて、ご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

大坪先生、どうぞ。

○大坪委員 大坪です。よろしくお願いします。

先日、説明に来ていただいたときにお伺いして、私が去年の委員会の中で、ずっとこの評価の中でちょっと懸念していたのが、全体の評価だけになってしまうと、病院ごとのものが見えにくいということを申し上げたんですね。それで、取りあえず全体的な、がんに対してはがんに対して、この幾つもの病院でこういったことをやっているということで、東京都全体でこうということを出すということですよ。そして、病院ごとには病院ごとの評価になるような、参考になるような資料がつくということだったので、そこはそれでよいかと思うんです。

ただ、去年の会議の中で、それぞれの病院の運営協議会というのが行われていて、それは有識者の方とか、それから地域の医師会の先生方が一緒に行っている会議なんですけれども、その会の中でどういった意見が出たのかとか、どのような評価の声があったかというのを私たちも知りたいというのがあります。この数字だけだと、なるほどと思っ
てしまいがちだと思うんです。なので、その運営協議会の中でどのような意見が出たかということも、項目の中に入れていただきたいというのがあります。

結局、評価委員会なので評価をしていって、よりよいものにしていかなければいけないと思うんですけれども、そのときにやはり自分たちの組織の中で立てた計画をできている、できていないというだけでは、本当に行政医療として求められているものがきちんと行われているかというの、なかなか分かりにくくなってしまうところではあると思うので、その運営協議会を大事にするということと、私たちも知りたいということが一つと、それからもう一つは、求められている行政医療に
応えられているのかどうかというのを評価したいという気持ちがあるんですね。なので、中期目標と計画に基づいてそれがクリアできたかどうかということの評価に、これはすごく基づいていると思うので、やっぱり行政医療として求められているものというのは、そのときによって形を変えていくものだと思うので、それを吸い上げて、それを計画の中に入れてい
るかということも、評価していきたいというふうに思うんです。自分たちがこれは行政医療だと思っているから、計画を立ててやろうとしているということではなくて、こういう意見があったよ、こういうふう
に求められているものを取り入れているんだという、柔軟にやっぱり求められるものに
応えているんだということを、私としては、評価の中ではとても大事なことなんじゃないかなというふうに思っています。

それから、もう一つ私が気になったのが、有事のときの医療はどんなのなんだろうかと
思っていたら、この資料4の評価項目の一番下のところに、災害医療における緊急事態
の対応とか、それから感染症医療における緊急事態への対応というところで項目があっ
たので、それはそれでよかったかなと思っています。

以上です。

○福井分科会長 事務局としましてはいかがでしょうか。

○萩谷連絡調整担当課長 ありがとうございます。

まず、例えば年度計画の中にも、各医療の提供の部分で、その他の行政的医療、高度・専門的医療の提供という項目がございまして、その中で新たな医療課題や地域の医療課題が生じた際には、各病院の機能に応じて積極的に対応するということが記載してございます。機構では都民の方、そして地域からのニーズ等に積極的に対応していきたいと考えておりまして、今先生からご指摘のあった各病院等で設置する運営協議会、地域の関係者の方からご意見を聞く場でございますが、そういった運営協議会であるとか、また、機構の法人本部で設置している有識者会議というものもございまして、そういった場で機構外部からのご意見等をお伺いしながら、病院運営や法人運営を行っていくこととしてございます。

業務実績の評価に当たりましては、こうしたニーズを踏まえた取組等についても、機構からご報告いただく予定でございます。どういうふうに報告書に記載するかというのは検討したいと思っておりますが、そういった報告をもとに、委員の皆様からも多面的なご意見を頂戴できればと思っております。都民の方や地域のニーズを踏まえた取組について、総合的に勘案して評価していければと思っております。

○福井分科会長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。児玉先生、どうぞ。

○児玉委員 今の評価項目に関連して、東京都のほうで業務実績評価書その他を最終的には出されるということですが、今まで分科会のほうでも、きちんとした医療を提供するために、病院のガバナンスというのは結構重要であるということは議論してきたと思うのですね。

その中で、こちら業務実績評価書の3番に、法人の業務運営及び財務状況に関する事項があります。それを評価するに当たって、我々が実際に病院に行って実地調査するわけでもなく、やはり機構として新たに外部監査人を選任されると思いますが、そういう外部監査の結果みたいな報告書を閲覧させていただくことができれば、それも評価の参考資料になるかなと思ったのですけれども、そのようなことは可能なんではないでしょうか。

○萩谷連絡調整担当課長 ありがとうございます。地方独立行政法人法上、6月末までに監査報告であるとか、業務実績等報告書等について機構から都に提出いただくこととなっております。ですので、何らかの形でご覧いただけるように、今後検討してまいればと思っております。

○児玉委員 分かりました。ありがとうございます。

○福井分科会長 ありがとうございます。

本田委員から、もしご意見がございましたら、よろしく申し上げます。

○本田委員 ありがとうございます。

私も先ほど大坪委員がおっしゃっていたことに関連して一つ、思っていたんですけど

も、評価書には、それぞれの病院から出てきたものも全体目標に沿ったところだけが書いてあって、中でどういう議論があったのかということまでが分からないようなものになるのでしょうか。評価をまだこの機構で1回もやったことがないので、どういう形で出てくるのかというのがイメージがつかなくて、その辺りが気になります。私も国立病院の評価委員などをさせていただいた経験があるんですけども、結構詳しくかなりの分量のものが出てきて、どっちかという、読み込むのがすごく大変というぐらい資料が出てきました。そのうえで、さらに、ここはどういう意見があったんですかなどと、気になることを直接法人に質問をして確認するというような議論も、法人の方に来ていただいて行ったりするという経験があります。この評価委員会では、そういう形になるのでしょうかというのが一つ、質問です。資料がどれぐらいの分量で出てくるのかというのは、まだ分からないのかもしれないんですけども、資料に基づいて、各病院に何かしら直接質問ができて、いろいろと評価するに当たってのやり取りをできたらいいと思います。そういうことができるのかということを知りたいと思います。

あと、それぞれの病院を評価するのではなくて、全体で評価するとなると、例えばがん医療も、こっちの病院が言っていることと、そっちの病院が言っていることを合わせて全体として判断するという評価の在り方というのは、頭では分かるんですけども、やってみてどうなのかというのが何とも分からない。まず、1回初めはやってみるということとはとても重要だとは思うんですけども、実際やってみた中で、もう少しこういうふうにしたほうが評価がしやすいよねとか、そういう意見を1回やってみた後などに聞いていただいて、改善につなげるということは考えていただけるのかという点についても伺いたいと思います。

○福井分科会長 いかがでしょうか。

○萩谷連絡調整担当課長 ありがとうございます。

まず、1点目にお伺いしましたのが委員の方から法人側に質疑を行うような機会があるかということだと思いますが、令和4年度の実績に対する評価に当たりましては、令和5年度の第1回分科会の際に法人から実績報告がございますので、その際に質疑を行っていただければと思っております。

2点目のやってみてどうかということで、1回目の評価をした後に評価委員の皆様からのご意見を頂戴するというところに関しましては、ご負担にはなるかとは思いますが、ぜひ伺いできたらと思っております。

○本田委員 ありがとうございます。特にどういうものを出していただけて、何をもって、何を根拠に私たちは評価するのかというのが、ちょっと今、想像だけでは何とも分からない。初めてのことであるので、まず一度やってみて、ということでもいいのかなと思っておりますが、その上でもう少しこういうふうに出してもらったほうが分かりやすいとか、そういう意見を聞いていただいて、次に改善につなげていただけるような形にし

いただければ大変ありがたいと思います。よろしくお願いします。

○福井分科会長 この分科会もPDC Aを回す必要があると思います。最初の年にやったことを踏まえて、さらに改善していくようお願いしたいとのことだと思いますので、よろしくお願いします。

それでは大坪先生、どうぞ。

○大坪委員 先ほど児玉先生がおっしゃっていたんですけど、財務のところ、例えば閲覧できるようにする方向でとおっしゃっていたのは、きっともう全体のものということになりますよね、機構全体の。結局この評価委員会は機構の評価委員会なので、全体を評価するということになると思うんですけども、そうすると、一つ一つの病院の例えば収支のこととか、多分それぞれに成績とかがあると思うんですけども、一つ一つの病院を評価して、こうしていったほうがいいですよというのはどこで行われるんですか。理事会なんですか。

○福井分科会長 事務局からお願いします。

○萩谷連絡調整担当課長 まず地方独立行政法人法上、都のほうに提出いただく書類というのが決まっております、そちらを委員の皆様にご覧いただくような流れで考えております。そういったものをご覧いただきながら、この評価の基準であるとか項目に沿いまして、評価をしていただくというような流れを考えてございます。

○福井分科会長 つまり病院ごとの収支を含めたそういうデータを見ることができるとしようかということだと思います。

○萩谷連絡調整担当課長 先行の団体だと、どういった形でやっているのか確認しましてと思っております。

○大坪委員 結局、この場で私たちが一つ一つの病院を見て、この病院はこうですよね、この病院はこうですよねというのではないと思うんですよね。全体として、うまくいっているかという評価をするというものなんだと思うんですけども。そうすると、例えば全体の評価をする評価委員会はここにありますが、14病院1センターのバランスというか、あなたのところはちょっとこうではないですかとかというのは、どこで評価されるのかなというのが気になりました。もうそれぞれがばらばらにやっていて、集まったところで全体で評価というふうに思えるんですけども。その14病院が、例えば理事会がありますよね。その理事会の中に多分院長先生方が入っていらっしゃると思うんですけど、その中でバランスの取り合いとかということですかね。ここは何をやるので、先生のところももうちょっとこれをやってほしいとか、この地域ではもうちょっとこれをやったほうがいいんじゃないんですかとかというのは、どこかで何かあるんですか。

○谷田理事 大坪先生、どうもありがとうございます。

今お話があったのは、先生のおっしゃったように、この委員会はやはり都立病院機構

としての法人全体を評価するというのは、そのとおりだというふうに思っております。ただ、それぞれの個々の病院の話があるというところのお話だと思いますが、そこは先生のおっしゃるように、一つは先ほども事務局から紹介しましたがけれども、機構のほうで外部有識者を入れるような会議の中で、いろんな外部の方のご意見も聞きながら、個々の病院の話も含めてお話があると思っています。そういう中で、先生のおっしゃったように、そのバランスの話ですとか、そういったことも議論されると思いますし、そういった結果、トータルとしてどういった形でこの業務実績報告等を上げられるかということだと思います。そういう中で、先生方のご意見として、こういったような点はどのようなことに対して、個々にどういう形で私たちがお応えできるのかということのは、また私たちも試行錯誤になるかもしれませんが、検討させていただくのかと思っております。

○大坪委員 求められているものとか、こういうのが必要だからこうしてほしいとか、収支とかそういうのだけではできないわけですよね、行政医療なので。例えば赤字になってもやらなければいけないことはやらなければいけないと。そういうのは有識者の会議の中で、いろいろな分野の先生方が集まって有識者会議を開かれるというのは聞いているんですけども、その中でじゃあ、計画の中にこういうのを盛り込んでほしいとかというのは入っていくという理解でよろしいですか。そういうことですかね。

○谷田理事 そのような場だけかという議論はあると思いますけれども、一つはそういうような場で、単に機構だけの考えだけではなくて、外部の方からもいろいろとご意見を頂戴しながらやっていくものだというふうに私たちも認識はしているので、そういった状況も十分に私たちも把握をして、お伝えできればと思います。

○大坪委員 そうすると、その有識者会議で出た意見というのは、かなり反映されると考えてよろしいんですか。意見聴取の場だけになってしまうと、参考までに聞いておきますというふうにして、それが計画に入っていないと、なかなかそれが。反映される場になるといいなと思います。

○谷田理事 今、先生のお話があったのは、そこは機構の中でやっていくお話ですので、私たちはそういうような形の事実がどうだったのかですとか、そういったようなところをまず押さえるということになると思います。そこにおいて、有識者会議だけではなくて、病院の運営というのが、機構全体としてなされてくると思いますので、それが評価という見方で言うと、私たちが今日ご提示したようなこの中期目標に沿って見ていくと、こういった分類になるということで提示しているような形になると思いますので、あくまで評価としてはそういう形で見ていきますが、先生のおっしゃるように、それをするに当たって、どういったことがあるのかということのは、またいろんな視点があると思いますので、そこはまた先生方のご意見を聞きながら、やっていくのかと思います。

○福井分科会長 児玉先生、どうぞ。

○**児玉委員** 少し先ほどの補足をさせていただきたいと思います。先ほど私がお質問させていただいた中で、監査報告書と申し上げましたが、監査報告書というのは紙一枚だと思います。ただ、それを意味するのではなく、我々は監査を行っていてよく分かりますが、恐らく監査人は、各病院に対してかなり日数を割いて各病院を回っていると思うのですね。そういう中で、やはり病院のガバナンスなり、医療的のところや財務的のところもちろん見ていると思いますし、どこに問題があるのかというのは、必ず何かしら指摘をされると思います。そういうものを取り纏めた報告書みたいなものを私は想定して、先ほどお質問させていただいたのですが。それがあると、機構内部で評価をした後に全体を見ることができるので、それを我々も頂けると、大変有用な参考資料になるかなという意味で申し上げました。今の大坪先生のお話も踏まえると、やはり最初に機構内部で評価して、その上で全体をもう一度中期目標に沿って評価する。そのようなイメージでよろしいのですか。

○**萩谷連絡調整担当課長** ありがとうございます。

そのような形になろうかと思しますので、やり方やお見せの仕方というのは検討させていただければと思っています。

○**児玉委員** あと、外部監査人のどういう報告が出るのかというのは非常に重要だと思います。かなり監査に日数を割いており、私が知っている中では300日以上監査に入ると思うので、その結果を知りたいというのが専門家としてあります。よろしく願いいたします。

○**萩谷連絡調整担当課長** ありがとうございます。

○**福井分科会長** よろしくお願ひします。よろしいでしょうか。

本田委員から、何か付け加えることはございますか。

○**本田委員** 特にないです。

○**福井分科会長** よろしいですか。ありがとうございます。

最後に私からも一言。

今おっしゃられたこととも関わりますが、できましたらPDCAサイクルが回っているかどうか分かるような書き方ができないかと思ひます。医療施設は常に動いていなければ駄目ですし、社会状況も変わってきています。問題点が上がってきたときに、それに対して適切な速さで、どのようにディスカッションをして、解決策を考えて実践しているか、外部評価への対応でもいいですし、自分たちで見つけ出した問題でもいいのですが、何かしら病院がよりよい方向に向かって動いていることが分かるような、そういう書き方をしてもらえればありがたく思ひます。それが1点。それから、数値化できるものについては、できるだけ数値を出していただきたいと思ひます。例えば患者さんのアンケート調査で満足度がどれぐらいだったとか、できるだけパフォーマンスとその結果が分かるようにしてもらえればありがたく思ひます。

それから、14施設全部をまとめた数値だけではなくて、14病院個々のデータを見ることができるようプレゼンテーションが可能ではないかと思います。そういうことも含めて、1年目に考えられる範囲内でいろいろやっていただいて、2年目にはそれを改善する方向で、ぜひよろしくをお願いします。

それでは、基本的には事務局から提案がございましたような方法でやっていただくということ、そして、本日出た委員からの意見をできる限り反映していただけるようにお願いするというところでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○福井分科会長 ありがとうございます。

もう一点、気がついたことがあります。参考資料1を見ますと、独立行政法人評価委員会条例では、この委員会は委員28人以内で構成するとなっておりますが、これは四つの分科会全部合わせて28人ということなんでしょうか。

○萩谷連絡調整担当課長 おっしゃるとおりです。四つの分科会を合わせて28名でございます。

○福井分科会長 そうですか。もし全体として28人にまだ達していなければ、本評価委員会の委員はもう少し多くてもいいのではないかと思いました。ほかの評価委員会では7人、8人というところが多いように思っていて、考えていただけませんか。

井伊先生からのご意見のご紹介など、事務局からよろしくをお願いします。

○萩谷連絡調整担当課長 委員の増員の件につきましては、ご意見を踏まえまして、増員の有無等について検討していければと思っております。

また、井伊先生のほうからご意見をお預かりしておりまして、読み上げさせていただきます。

評価項目は案のとおりで結構ですが、各医療を評価する際に、例えばがん医療であればがんの治療実績だけではなく、総合診療基盤に基づいた他科との連携の取組や地域医療機関との役割分担に応じた連携、人材育成といった面を総合的に捉えて評価を行っていただきたい。なお、法人から実績を求める際には網羅的な記載を求めるのではなく、現場に負担をかけないようにするということが念頭に置いていただきたい。また、コロナ禍での法人化であり、補助金などの見える化は社会的にも関心があり必須だと思う、というご意見を頂戴しております。

事務局としては、いただいたご意見も念頭に置きながら、実際に評価等を行っていただければと思っております。

○福井分科会長 ありがとうございます。

それでは、多くの意見が出て恐縮ですけれども、そのような点を考えながらやっていただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

よろしいでしょうか。ほかにご意見ないようでしたら、事務局から報告事項等の説明を

よろしくお願ひいたします。

○萩谷連絡調整担当課長 ありがとうございます。資料8の今後の都立病院分科会開催スケジュールについてご説明させていただきます。

まず、今年度でございますが、3月に第3回の分科会の開催を予定しております。本日の議論の内容等、もし基準等で修正が生じる場合などについては、改めてご報告させていただきたいと思っております。また、令和5年度の年度計画についてご報告させていただく予定でございます。

次に来年度の予定でございますが、6月から7月にかけて、第1回と第2回の分科会を開催し、都立病院機構の業務実績評価につきまして、委員の皆様からご意見をいただければと考えております。

説明は以上でございます。

○福井分科会長 ありがとうございます。ただいまのスケジュールにつきまして、何かご質問はございますでしょうか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○福井分科会長 ありがとうございます。

それでは、本日の議事は以上で終了ということになります。

最後に、事務局から何かありましたらどうぞ。資料等について、よろしいでしょうか。

○齋藤都立病院支援部長 都立病院支援部の齋藤でございます。

本日はお忙しい中、ご出席賜りまして、誠にありがとうございました。また、大変活発なご議論をいただきまして、ありがとうございます。いずれのご意見も委員の皆様が、都立病院がよりよい医療を都民に届けるためのご意見と受け止めておりまして、なるべく委員の先生方のご意見に沿ったような形で準備を進められたらと考えているところでございます。

この都立病院機構のように、14病院1センターを有する地方独立行政法人というのは、全国にもあまり例がないという規模になっておりまして、だからこそその病院別のデータの提出ですとか、そういったご意見をいただいたものと思っております。この都立病院機構に対する評価につきましては、注目度も非常に高いものと考えておりますので、先ほど来ご意見いただいたような形で、まずは評価を進めていって、先ほど分科会長のほうからもありましたけれども、さらにPDCAサイクルを回していった上で、評価そのものもいい評価になっていけばと考えております。

機構の運営をより充実したものとしていくためにも、今後とも委員の先生方のご助言が欠かせないものと考えておりますので、引き続きどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

○福井分科会長 ありがとうございます。

以上で、第2回都立病院分科会を閉会といたします。ありがとうございました。

(午後 5時46分 閉会)